

TVで自分の健康情報

健診結果や「お薬手帳」の内容など自分の健康情報をテレビで見られるサービスを、ケーブルテレビの「ジェイコムエスト京都みやびじよん局」(京都市下京区)とNPO法人が始めた。これまでパソコンやスマートフォン(多機能携帯電話)などで利用できたサービスを、高齢者たちが自宅で利用しやすくなると期待される。



このサービスはNPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター(SCCJ、上京区)が運営する個人向け健康情報管理サービス「ポケットカルテ」。

「みやびじよん」サービスを開始

提携する医療機関や調剤薬局から提供された健診結果や処方箋に基づく調剤データ、医療費の明細書などを一元管理し、いつでも閲覧できる。転院しても情報が引き継げるなどの利点がある。

健診結果や「お薬手帳」の内容など「ポケットカルテ」を閲覧できるテレビ画面(京都市下京区・ジェイコムエスト京都みやびじよん局)

ひと目で健診結果や処方履歴

。会員登録(無料)が必要。2008年10月に始まり、今月末で利用者は約8万人を超える見込み。テレビでのポケットカルテ提供は全国で初めてといい、「くらし情報」の一つとしてリモコン操作で気軽に閲覧できる。

今回は京都みやびじよん局のサービスエリア(京都市内や乙訓2市1町)で加入者を対象に来年5月まで試行する。将来は利用エリアを拡大する予定。

SCCJ顧問の北岡有喜・京都医療センター医療情報部長は「テレビでの情報提供は高齢者にも親しみやすく、家族も一緒に健康状態を確認できる利点がある」と話す。

問い合わせはジェイコム・カスタマーセンター ☎ 0120(999)000。(目下田貴政)